

茨城県立こども病院小児科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け） [令和7年度まで]

<特徴>

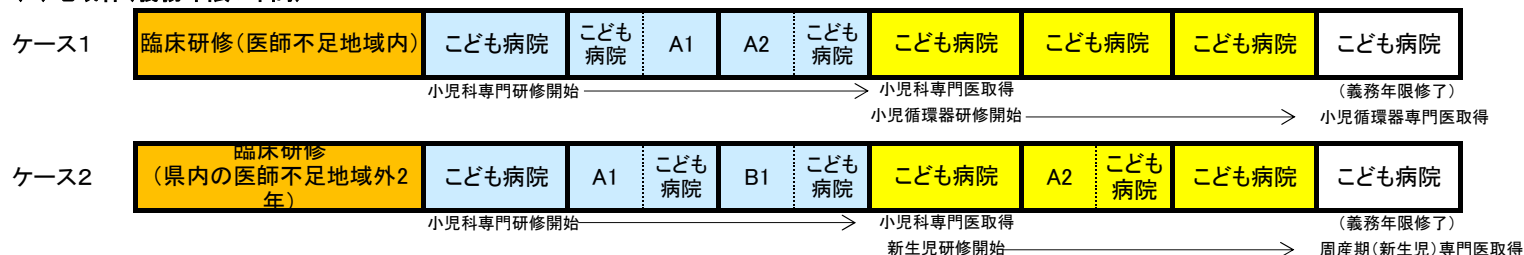
- ・令和2年度より、水戸医療圏は医師不足地域外の扱いにはなりますが、修学生医師を優先的に派遣すべき地域に該当し、医師不足地域での義務履行期間に算入されます。これにより、基幹病院での勤務期間も同様に、義務履行期間に算入されます。
- ・小児科専門医取得後はSubspecialtyの確立を目指し、更なるステップアップのために指導・配慮します。
- ・すぐに臨床に活かせる、超音波検査研修に力を入れています。

<研修例> あくまで例であって、個別にアレンジします。

臨床研修
小児科専門研修
小児科系Subspecialty専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 (備考)

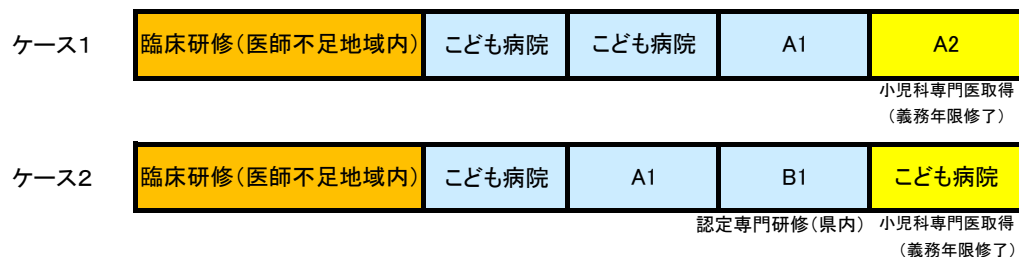
(1) 地域枠(義務年限9年間)



小児科専門医を取得後、Subspecialtyとして小児循環器専門医を取得するケース

小児科専門医を取得後、Subspecialtyとして周産期(新生児)専門医を取得するケース

(2) 一般修学資金(義務年限6年間)



基幹病院および医師不足地域内病院のみにて研修するケース

小児科専門研修中に1年間、県内の医師不足地域外病院で研修するケース

【小児科専門研修研修病院群】

基幹病院	茨城県立こども病院※
A群病院群 (医師不足地域内病院; 経過措置を含む)	連携病院: 日製日立総合病院、日製ひたちなか総合病院、茨城福祉医療センター※、水戸済生会総合病院※ 関連病院: 茨城県西部メディカルセンター、茨城東病院、茨城県立中央病院※、常陸大宮済生会病院
B群病院群 (医師不足地域外病院)	連携病院: 筑波大学附属病院 関連病院: 土浦協同病院

※経過措置として、医師不足地域での義務履行期間に算入